

委員会のおうぎ

総務 教育

常任委員会

大方中学校外壁の補修を



委員 長 宮川 徳光
みやがわ のりみつ

■大方中学校外壁補修工事費
2千万円

前記2件は、大方中学校の軒天井が腐食により落下の恐れがある状況で、バリケードにより対応しているため、これを解消して安全確保を図るもの。

Q 同校は、築後何年かまた、建て替えの検討などは。

A 1971年建築で52年ほど経っている。

このため、安全確保のための全体的な改修工事が、建て替えかについて検討することとしている。

また、建て替えには10億円ほどかかるため、より有利な補助を受けるた

改修予定の大方中学校



骨材の腐食による傷みが多く見られる軒天井の1例（3月下旬）

これは、今回、補助を受ける、今後、新築する場合に校舎の更新補助金の適用が受けられなくなるためのもの。

なお、今後の学校の新築や改築などに際しては、単に老朽化の面だけを考えるのではなく、少子化による学校の統廃合や、小中学校の一貫校などとも視野に入れた教育政策全般の視点での検討が必要となってきたと考えている。

火災時の住民対応 仕組みづくりを

■消防団員用消耗品費
325万円

新入団員用の制服などの支給経費。

Q 消防団員が定員割れとのことだが、確保への取り組みは。

また、消防団員の多くは、昼間、勤めなどで地区内にいない現状があり、昼間の火災などへの対応面で地域に大きな不安を生じている。

このため、団員外の住民が消火栓の操作など、



ホース格納庫の1例。消火栓キーハンドルや消防ホース、管槍が収納されている

火災時に対応できるよう仕組みづくりも必要ではないか。

A 団員確保については、各分団において、団員が辞める際には、代わりの団員を誘って頂くようにしている。

また、火災時に対応した仕組みづくりについては、町内では、自主防災組織で取り組んでいるところや、消防団が教えている地域もある。町の防災訓練の際でも、同様の対応は出来るので活用して頂きたい。

令和5年度 一般会計予算 大方中学校 外壁の補修を

■大方中学校外壁補修工事設計監理委託料

200万円